



詳細版(ホームページ):
www.nintendo.co.jp/csr/

CSR REPORT 2021

任天堂の商品やサービスと事業活動を通じて、 持続可能な社会の実現に貢献し、 笑顔の輪を広げます



関わる人の健康と安全のために

私たちはこれまで、お客様やお取引先各位、社員の健康と安全を最優先に行動してきました。

具体的には、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応し、社長を本部長とした「災害対策本部」を立ち上げ、全社員を対象としたマスクの配布、在宅勤務の実施などの取り組みを開始しました。また、感染リスクを考慮し、すべてのお客様向けイベントを原則オンラインに切り替え、お客様が楽しみにされている機会をできる限り損なわないよう、お客様の健康と安全を優先する形式での実施としました。Stay at Homeを余儀なくされる中においては、お客様の運動不足の解消に、Nintendo Switchの『リングフィット アドベンチャー』や、在宅勤務の環境下で開発した『ジャンプロープ チャレンジ』が貢献できたのではないかと考えています。サプライチェーンに対しても、監査をリモートで実施するなどの対応を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うさまざまな事業環境の変化に対しても、柔軟に適応できる組織へ進化し続けています。

任天堂に関わるすべての人を笑顔にする

私たちは、「任天堂に関わるすべての人を笑顔にすること」をCSR活動の目標に掲げ、「お客様を笑顔にする」「サプライチェーンを笑顔にする」「社員を笑顔にする」の3つを重点項目として活動しています。それをもとに、海外においても、各地の子会社独自の取り組みからグローバルに連携した取り組みに至るまで、さまざまな活動を推進しています。

たとえばお客様に対しては、継続的な活動として、お子様が安心してゲームを楽しんでいただくことをサポートするための無料アプリ『Nintendo みまもり Switch』の普及に力を入れています。サプライチェーン関連では、人権や労働リスクへの対応の重要度が増している中、CSR調達に関する各国の活動のグローバルでの情報共有はもとより、今後の取り組み強化に向けて動き出しています。また、社員に対しては、多様性を尊重し、性別、年齢、国籍、障がいの有無、性的指向、性自認などに関係なく、さまざまな個性を持つ社員一人ひとりが最大限に能力を発揮できるよう、職場環境の整備や制度の拡充に取り組んでいます。

また私たちはこれまで、製品の開発・設計における環境配慮をはじめ、環境負荷低減に取り組んできました。今後も環境負荷低減活動を継続しながら、環境関連の開示情報の整理・拡大を進めます。近年、気候変動や海洋プラスチック問題など、環境に対する関心が一層高まり、国際的枠組みであるパリ協定に代表されるように、環境問題解決に向けた動きが世界中で加速しています。任天堂は未来を見据えて、環境課題に取り組んでいきます。

お客様との長期的な信頼関係を築くために

私たちは、お客様とよりよい関係を築き、その関係を持続できるよう長年努めてきました。そうして培われてきたお客様との信頼関係こそが、任天堂が事業活動を続けていくうえで、最も大切な財産です。任天堂はこれからも、「娯楽を通じて人々を笑顔にする会社」として、世界中のすべての人々に向け、独創的な商品やサービスの提案を続けていきます。そして、任天堂独自の娯楽体験が、世代や国境を超えたコミュニケーションの一助となり、人々の絆を深めるきっかけになることを願っています。



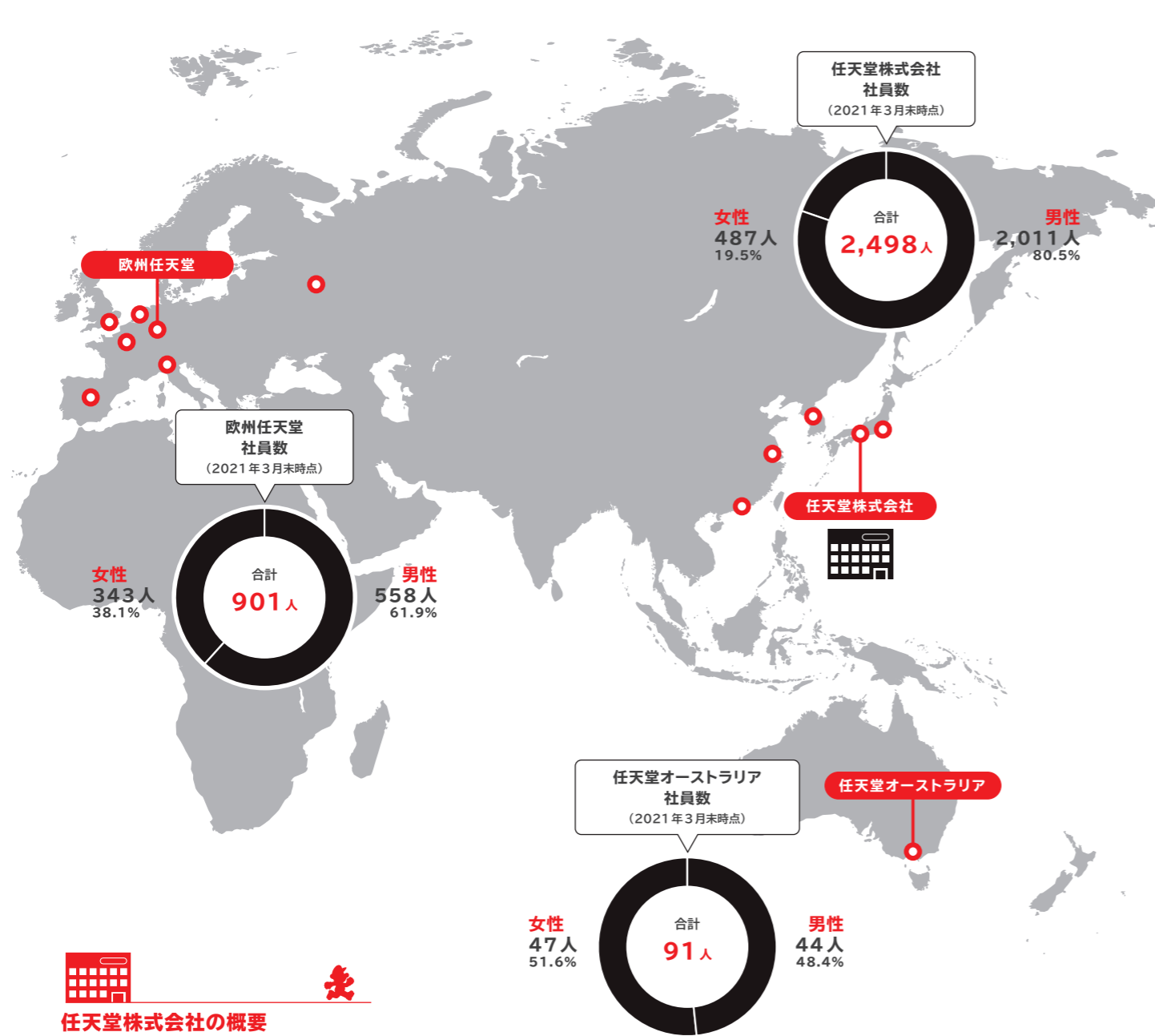
任天堂株式会社 代表取締役社長

古川 俊太郎

任天堂グループの事業概要

グローバルに展開する任天堂グループの各拠点で、日々ステークホルダーの皆様笑顔をお届けしています。

●任天堂グループの主な拠点を示しています。



任天堂株式会社の概要

- 所在地** 京都市南区上鳥羽鉾立町11番地1
- 創業** 1889(明治22)年9月
- 設立** 1947(昭和22)年11月
- 資本金** 10,065百万円



連結子会社数

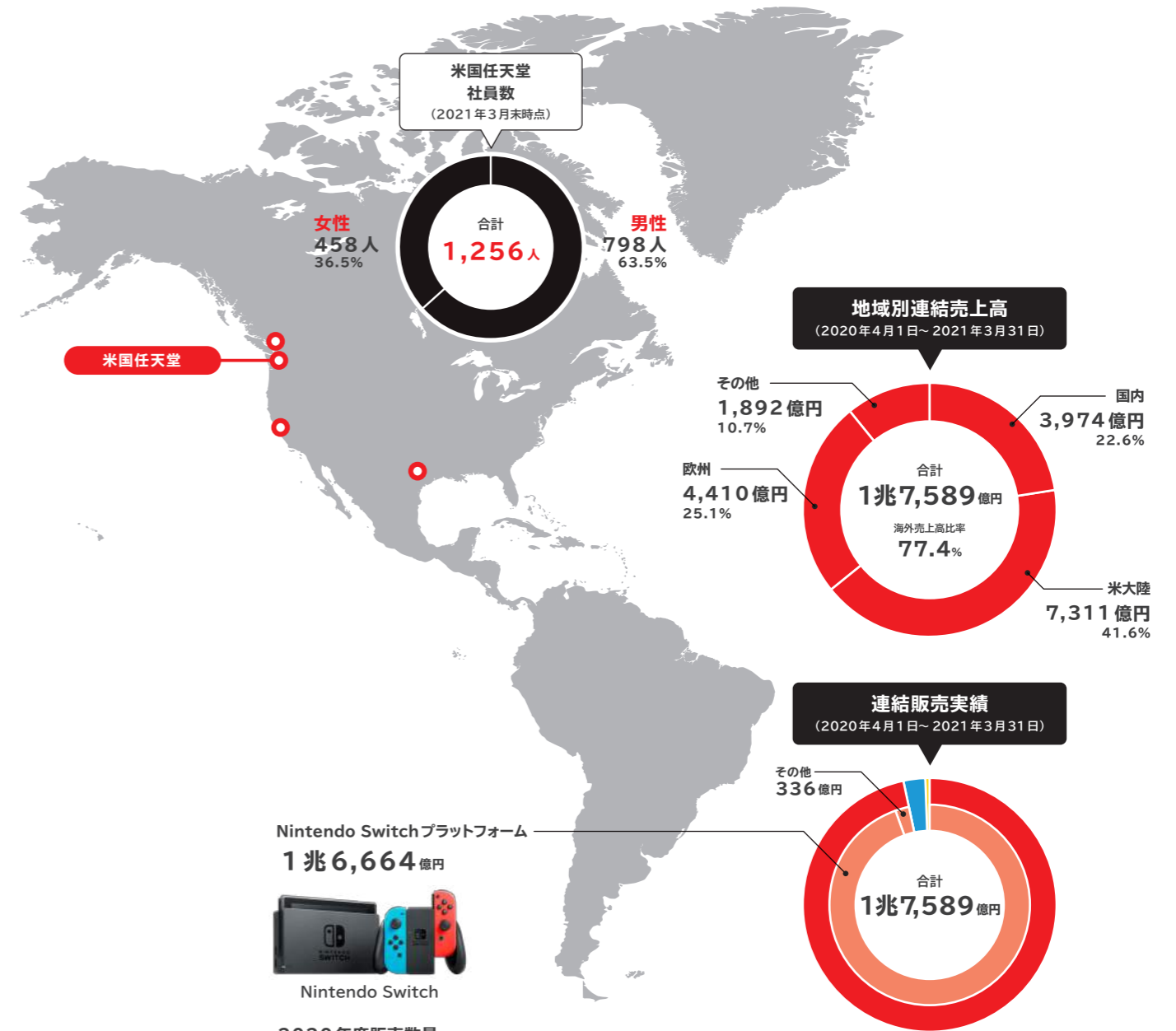
27社



連結社員数

6,574人

※2021年3月末時点



Nintendo Switchプラットフォーム
1兆6,664億円



Nintendo Switch

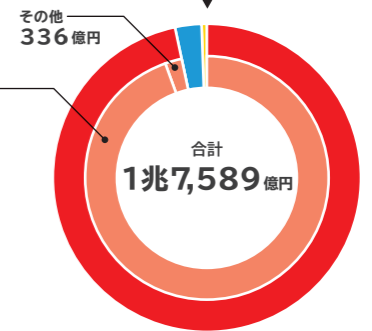
2020年度販売数量

- ハード 2,883万台
- ソフト 2億3,088万本

累計販売数量

- ハード 8,459万台
- ソフト 5億8,712万本

連結販売実績
(2020年4月1日~2021年3月31日)



- ゲーム専用機 1兆7,000億円
- モバイル・IP関連収入等 570億円
- その他(トランプ他) 17億円

CSRマネジメント

「任天堂に関わるすべての人を笑顔にする」ために、CSR活動の推進体制を整え、CSRに関する重点項目を設けて活動を推進しています。

● CSR推進中期計画と今後に向けて

2015年度にCSR活動に関する推進中期計画を策定すると同時に、CSR活動の重点項目を設定しました。2018年度には、過去3年間の活動を振り返り、任天堂グループを取り巻く社会の状況にあわせた重点項目の改善を行うことで、CSR活動の取り組みを前進させました。2021年度からも「任天堂の強みを活かした取り組みで、社会からの期待に応え、笑顔を増やしていく」ために、引き続き「お客様を笑顔にする」「サプライチェーンを笑顔にする」「社員を笑顔にする」の3つの重点項目に取り組むことでCSR活動を推進していきます。また私たちはこれまでも環境に配慮した取り組みを行ってきました。社会における関心が高まる中、グローバルで取り組みの枠を広げていきます。



● CSR活動の推進体制

任天堂（日本）は、単独の部門がCSR活動の推進を担うのではなく、社内のすべての部門が、それぞれ関わる分野における活動を推進していくという考えのもとで、2007年度にCSR活動の取りまとめやサポートを行う「CSR推進プロジェクトチーム」を社内に設置し、CSR活動の推進を行っています。また、CSR活動をグローバルで進めていくために、主要な海外子会社にCSR推進チームやCSR推進担当者を設置して、各国の活動状況をグループ会社間で共有しているほか、経営陣に活動状況の報告を行う体制を整えています。



走 任天堂グループの3つの重点項目

★ お客様を笑顔にする P9-10 ▶

お客様に商品を手にとっていただくためには、お客様に常に新しい驚きと独自の体験をお届けする必要があります。

- 娯楽の新たな可能性の追求
- 次世代の育成
- 製品の品質・安全
- 顧客プライバシー



🌱 サプライチェーンを笑顔にする P11-12 ▶

サプライチェーン全体でCSR活動を進めていくことが、生産現場で働く人の労働環境の向上だけでなく、高品質な製品の生産につながり、最終的にお客様の笑顔につながることを考えています。生産パートナーとのコミュニケーションと相互理解を重視して、サプライチェーン全体でお客様の笑顔のために協働していきます。

- 労働環境の最適化
- 責任ある鉱物調達への対応



👤 社員を笑顔にする P13-16 ▶

さまざまな個性を持つ社員が、関わるすべての人を笑顔にするために働いています。グローバル企業としての適切な人権意識のもとに、任天堂の競争力の源泉である社員が働きやすい環境を整えていくことが大切だと考えています。

- 多様性・機会均等・ワークライフバランス
- 安全衛生
- 研修とキャリア開発



新型コロナウイルス感染症への対応

お客様をはじめとするステークホルダーの皆様の健康と安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）へのさまざまな対応を行っています。

お客様への取り組み

Nintendo Switch用ソフト『ジャンプロープ チャレンジ』

Stay at Homeを余儀なくされた期間中に、お客様の運動不足の解消のために、屋内でなわがなくても「なわとび」ができる、Nintendo Switch向け運動ツール『ジャンプロープ チャレンジ』を配信しました。多くのお客様の「運動不足の解消」に貢献できるよう、無償で提供しています。また、こちらは、在宅勤務の環境で何かお役に立つことができないか、という開発者自身の想いから開発・提供されたものです。『ジャンプロープ チャレンジ』は2020年6月の配信以降、全世界の皆様により約53億回、跳んでいただいています。（2021年6月時点）



サプライチェーンへの取り組み

2020年度は生産パートナー様とのコミュニケーションにおいても、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した対応を行いました。責任ある鉱物調達に関する実態調査をリモートで実施したほか、通常は現地訪問にて行っている第三者監査をリモートで行うための準備を進め、2021年春に実施しました。感染リスク低減を意識しつつも、必要事項は綿密なチェック項目を設けて確認を行い、コミュニケーションの機会をより増やすなどして、現地の状況把握に努めました。

社員への取り組み

社員が安心して働けるように

任天堂（日本）では、新型コロナウイルス感染症拡大への対応のために、社長を本部長とする災害対策本部を立ち上げ、社内や関係者に感染者が発生した場合の行動指針の作成や、事業活動と社員の安全を両立させるための計画を策定しました。社員が安心して働くことができるように、新型コロナウイルス感染症拡大への備えとして、すべての事業所において在宅勤務を取り入れ、職場における感染症予防対策を行いました。海外の状況も含めた具体的な取り組みをご紹介します。

各地での社員に対する取り組み

任天堂（日本）

- 出社勤務者のために、通勤時間をより柔軟にできるよう、定めていたコアタイムの短縮や免除を実施
- マスクを全社員に配布し、執務室や食堂に飛沫感染防止のためのパーテーションを設置
- 在宅勤務に必要な備品購入などを目的とした準備金を全社員へ支給
- 社員の子どもへの休校にあわせた特別休暇を付与

米国任天堂

- 医療保険会社と医療機関が共同でオンラインでの医療ケアを提供
- オンラインでのカウンセリングや、行動保健学に関する情報を社員へ告知
- オンラインでのトレーニング、育児サポートなどの社員支援プログラムを提供
- 出社する社員がオフィスで安全に働けるように、行動手順の見直しを実施
- 育児・介護のための業務時間を柔軟に設定できるようにしたり特別休暇を提供
- 在宅勤務をサポートするための手当を支給
- ロックダウンにより勤務が困難な社員に対して、勤務した際と同等の給与と福利厚生を提供

欧州任天堂

- ロックダウンの期間中に、社員同士のコミュニケーションを促進するための「バーチャルコーヒーブレイク」を実施
- 管理職が休憩時間に、在宅勤務や感染症関連の課題について相談し合う「バーチャルランチ」を実施
- 新しく入社した人のために、オンラインでの入社オリエンテーションを実施
- 出社勤務をする際に、マスクなどが入ったウエルカムバックギフトを提供
- メンタルヘルスの専門医と相談が可能なメンタルホットラインを全社員が利用できる形で設置

任天堂オーストラリア

- Covid Safe Plan（出社する社員の体温チェック、消毒剤ステーションの設置、食堂の感染防止対策など）を実施
- マスクのつくり方やメンタルヘルス、ワークライフバランスやフィットネスなどに関する情報や定期的なアドバイスを提供
- 「RU OK? Day」（メンタルヘルスに関する認識を推進するための日）にギフトバスケットを全社員に提供
- 出社勤務の社員にマスクなどが入った、ウエルカムバックギフトを提供

お客様を笑顔にする



私たちは、常に新しい驚きと独自の体験をお届けすることを目標に、娯楽の開発を行っています。

Nintendo Switchでは、ハードウェアとソフトウェアを一体にしたものづくりによって、どなたにでも楽しんでいただける独創的な商品・サービスのご提供を目指しています。お客様がゲームプレイに費やされた時間とエネルギーが、マリオに代表されるキャラクターたちに命を吹き込み、世を超えて多くの方々に親しんでいただくことができたのではないかと考えています。そして、それらは「任天堂」というブランドを培い、私たちにとっての貴重な財産になっています。

私たちの商品の多くは、ご家族の皆さまで、あるいはお友達と一緒に楽しんでいただきたいという想いを込めて開発してきました。実際にご家族が安心してプレイいただけるように、『Nintendo みまもり Switch』によって、お客様のゲームプレイ状況を保護者の方が見守ることができる仕組みをご提供するなど、サービス面も加えて、総合的にお客様に笑顔をお届けするための努力を続けています。



保護者による使用制限について

Nintendo Switchでは、保護者による使用制限機能（みまもり設定）を導入しています。この機能を利用することにより、各国のレーティングに基づく年齢別使用制限、ほかの人とのコミュニケーション制限などが可能になります。

任天堂（日本）

Nintendo みまもり Switch普及のためのさまざまな取り組みの実施 Nintendo Co., Ltd.

任天堂（日本）では、Nintendo みまもりSwitchの普及のために、さまざまな取り組みを行っています。たとえば、インターネットに起因するトラブル防止のためのインターネットリテラシー向上を目的とした「青少年いいねッ京（みやこ）フォーラム」では、お子様を守るために利用できる、当社商品のペアレンタルコントロール機能の積極活用をアピールしました。このフォーラムでは、京都府内の中学生、高校生、京都府警察などによる青少年の安全なネット利用に関する討論が行われ、その討論に参加しています。また、青少年を守るために内閣府が作成した「保護者が正しく知っておきたい4つの大切なポイント」という冊子においても、Nintendo みまもりSwitchをご紹介いただきました。そのほか、お客様サポート情報を発信する公式Twitterアカウントにおいても、Nintendo みまもりSwitchを定期的にご紹介しています。また、サポートサイトには、より簡単に利用方法をご理解いただけるよう、「Nintendo Switchをみまもう」というコミックを掲載しています。



欧州任天堂（イギリス）

スターライトとの協力 Nintendo of Europe

難病児童支援プロジェクト活動を行うスターライト・チルドレンズファンデーションとともに、継続的な取り組みを行っています。スターライト・チルドレンズファンデーションは2020年度、Nintendo Switch1台とニンテンドー3DS1台、ゲームソフト2本がセットになった「スターライトゲーミングバンドル」を製作しました。スターライトゲーミングバンドルには、リファービッシュ※した商品が使われています。これまでに300セット以上が病院に

贈られ、子どもたちの一日の生活を豊かにし、病院での時間を楽しくすることに役立てられています。寄贈先の病院で医療従事者にアンケートを実施し、取り組みへのフィードバックを集めたところ、80%以上の方から、スターライトゲーミングバンドルが子どもたちの不安解消に役立ったとの回答をいただきました。これまでに約2万5千人の子どもたちがスターライトゲーミングバンドルで遊んでいます。

※ リファービッシュ
資源循環を促進するために、中古機器を再生し、再利用すること。

サプライチェーンを笑顔にする



2019年5月の現地訪問の様子

サプライチェーン全体でCSR活動を進めていくことで、取引先や生産現場でのCSRに関する理解を促進し、それが労働環境の改善促進につながり、最終的にサプライチェーン全体の笑顔につながると私たちは考えています。そうした取り組みが労働者の定着や生産性の向上、さらには高品質で魅力ある製品の安定的な生産を可能にし、その結果、お客様をはじめとする任天堂に関わるすべての人に、笑顔を届けることができるようになると確信しています。

これからも緊密なコミュニケーションによる相互理解を重視し、生産パートナーと協働してCSR活動を積極的に推進していきます。



● CSR調達の方針

サプライチェーン全体で社会的責任をより確実に果たしていくために、2011年より「任天堂CSR調達ガイドライン」を策定し、すべての生産パートナーへ配付し、遵守をお願いしています。このガイドラインは、外部専門家からのアドバイスを受けながらRBA※の基準を取り入れており、掲げられているすべての項目を確実に浸透させることを目指しています。日本語版、英語版のほか中国語版を作成し、より多くの方が母国語で理解できるように努めています。

※ RBA (Responsible Business Alliance)

労働環境の安全、労働者への敬意・尊厳ある処遇など、電子機器業界などのサステナビリティ向上に向けて取り組む業界団体。

● 書面調査による確認

生産パートナーにおけるCSRの推進状況を把握するために、すべての一次取引先に、経営状況などとあわせて、年に一度書面による報告をお願いしています。この報告には、一次取引先の各工場におけるCSR推進状況を把握するための各工場の実態の報告も含まれており、懸念がある回答があった場合には、書面でのさらなる追加調査や、第三者による監査を含めた確認を行うといった措置をとっています。2020年度は、現地で働く労働者の方に関する情報を、より網羅的に把握できるように調査内容を改訂しました。

● 現地訪問による現状把握

書面調査の回答内容や取引の重要性、環境の変化などを考慮し選定した生産パートナーの各工場には、2008年から継続的に調達部門の担当者が直接赴いています。また、実地調査に加え第三者監査も行っており、CSR調達のさらなる透明性の向上に注力しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、現地を訪問する代わりにリモートで監査を行う準備を進めました。2021年春に監査を実施することができ、現地の状況把握を行いました。

● 改善に向けたフォローアップ

書面調査や現地訪問時に把握した課題に対する生産パートナーのその後の対応確認のために、任天堂CSR調達ガイドラインにあわせたフォローアップ基準を設定しています。フォローアップ活動を通じて、改めて任天堂のCSRに対する考え方をご理解いただくことが重要だと考えています。そのうえで、取引先自らがCSRについて考えていただき、改善を行っていただくことが、サプライチェーンを笑顔にするために不可欠だと考えています。

CSR調達検討会における連携

任天堂グループでは、サプライチェーンにおける各国のCSR調達に関する活動の情報を、グループ全体で共有するため、CSR調達検討会を立ち上げました。この検討会では、世界各地の任天堂グループの関係者が集い、それぞれのCSR調達活動状況を共有するとともに、グループ全体での取り組みを協議しています。

社員を笑顔にする



任天堂グループには、さまざまな個性を持つ社員が集い、関わるすべての人を笑顔にするために働いています。グローバル企業として適切な人権意識を確立しつつ、各国・地域の事情にあわせた制度や取り組みを導入・実施して、任天堂の競争力の源泉である社員一人ひとりが生き生きと気持ちよく働ける職場環境づくりに努めています。

● 健康増進支援と働きやすい職場づくり

米国任天堂 (アメリカ)

社員の健康の確保のために

Nintendo of America

米国任天堂は新型コロナウイルス感染症の流行当初にオンサイトで提供していた健康関連サービスの大部分をオンラインサービスに切り替え、時間の経過とともに進化・充実していくオンラインでのサービスを社内ウェブサイト記事やメール、郵便を通じて従業員に継続的に告知しました。たとえば、社員全員がオンラインカウンセリングを無料で利用できるようにし、会社が提供する医療保険に加入している社員には米国任天堂の健康センター (CareATC) を通じて、一次診療、処方薬、理学療法、カウンセリング、コーチングなどのオンラインケアやメンタルヘルスサポートを受けることができるようにしました。これらのサービスの多くを、無料もしくは最小限の自己負担額で提供しています。

さらに、在宅勤務が長期化する見通しとなった中で運動不足を解消できるよう、米国任天堂のフィットネスセンター (EXOS Fitness Center) は、ヨガ、瞑想などのグループでのオンライン教室や、オンデマンドビデオ講座などさまざまなオンラインサービスを提供しました。また、EXOSの4つの活動方針である、「マインドセット」「栄養」「運動」「回復」にフォーカスした、月に一度のウェビナーと課題の配信も行っています。ほかにも、CareATC、EXOS、ERG※が協力し、社内の育児支援グループと社外の栄養士がヘルシーな料理を実演する動画を毎週配信しました。

※ ERG (Employee Resource Groups)
共通の特徴や経験、趣味を持った社員が任意に集まってつくるグループ。社員同士の相互理解を促進し、社員のモチベーションを高めるための取り組み。

欧州任天堂 (ドイツ)

働きやすさ向上のための社員主導の取り組みを開始

Nintendo of Europe

欧州任天堂 (ドイツ) は、健康やパフォーマンスの促進、ストレス軽減や社員の満足度の向上を目指すための取り組み「Nintendo FIT」を推進しています。2021年1月に立ち上げたこの取り組みには、さまざまな部署の社員がボランティアとして参加しており、「現状認識をもとにした活動を行う」「社員の参加」「すべての社員への機会均等」という3つの理念に基づいて活動を行っています。その理念に沿って、仕事への意欲の向上、業務に伴う疾病の防止、欠勤の低減、会社との関係強化、職場の雰囲気向上などを目標とする施策や活動を開始しています。細かいニーズを分析し、課題を見つけ出したうえで活動を計画し、

すべてのグループ、ジェンダー、年齢、その他特別なニーズを考慮した解決策を提示し、欧州任天堂 (ドイツ) の組織運営にNintendo FITを組み入れることで社員へのサポートを推進していきます。具体的には、社員に対して、社内ウェブサイトやニュースレターで新型コロナウイルス感染症への理解を呼びかけるとともに、運動や、瞑想のようなメンタルエクササイズ、バランスのとれた食事を通じて、どのようにストレスを回避し軽減するかについての情報発信を開始しています。さらに、健康に関するさまざまなトピックについての講義や、外部のフィットネスコーチによるオンライン支援プログラムの提供も検討しています。



欧州任天堂 (ドイツ)

社員の働きやすさ・機能性・環境への配慮を重視した新しいオフィス Nintendo of Europe

欧州任天堂 (ドイツ) は2020年9月に欧州本社をフランクフルト市内で移転しました。移転にあたっての主要な目的を、社員の参画意識の向上、最新の機能性の実現、環境への配慮とし、その実行のために部署横断の複数の委員会を設立しました。たとえば、インテリア委員会が使用する材料や備品の選択を担当したほか、メディア委員会はビデオ会議システムなどのメディア機器を効率的に利用できるように考慮して会議室をデザインしました。また、社員の声を集める専用のメールアドレスを設け、社員が感想や提案を伝えたり、質問したりすることによって移転に積極的に関与できるようにしたほか、社内ウェブサイトを使って移転に関する情報を定期的に社員へ発信しました。

新社はDGNB※のゴールド認定の要求事項を満たすように設計され、漁網をリサイクルして作られたカーペットなど、環境面での持続可能性を考慮した備品を多く使用しました。

※ DGNB
Deutsche Gesellschaft für Nachhaltiges Bauen (ドイツ持続可能建築協会) による建築物評価制度。環境への影響を低減しているかという観点のほか、費用対効果や不動産価値の維持などの経済的側面、室内の快適さや誰にとっても使いやすいデザインなどの社会的および機能的側面などさまざまな側面から建築物の持続可能性を評価する。

欧州任天堂 (ドイツ) の新本社は、具体的には以下のような設備・機能を有しています。

- サッカー場・卓球台・バレーボールやバスケットボールなどに利用できる多目的競技場
- おもちゃや絵本、休憩・授乳に使える椅子などの備品をそろえた、子どもの面倒を見ながら仕事ができる親子用ルーム
- Wi-Fiが使用可能な緑地やテラスエリア
- フィットネスルーム
- ユニセックス・バリアフリートイレ (すべての階に設置)
- エネルギー高効率な最新式の冷暖房装置
- 建物外部における日照防止パネルの設置や窓の開閉を可能にする設計
- 高さを調節できるデスクなど、人間工学に基づく家具類

任天堂オーストラリア (オーストラリア)

オフィスのリノベーションによる職場環境の向上

Nintendo Australia

2020年4月から9月にかけて、任天堂オーストラリアのメルボルン本社オフィスの改修を行いました。このリノベーションでは、社員の健康、アクセシビリティや環境面などに配慮しました。オフィスのリノベーションによって、社員にとってより快適なワークスペースにつくり替え、オープンスペースを増やしたほか、新しい備品をそろえ、快適な座席レイアウトを実現しました。さらに、オフィス内に観葉植物を多く設置して雰囲気向上を目指しています。建物内のアクセシビリティの向上も重視し、エレベーターや、障がいを持つ方に対応した設備を備え付け、社員や来客にとって利用しやすい建物を目指しました。またこのリノベーションでオフィスの環境負荷を低減するため、空調の効率性を向上する外窓用のソーラーフィルムや、人がいない時に自動的に消える照明の設置など、オフィスの環境パフォーマンスを向上させています。



新型コロナウイルス感染症に伴う出社制限が解かれた際には、フレッシュな職場環境で社員を迎えたいと考えています。

● 多様性のある職場の実現

任天堂 (日本)

パートナーシップ制度の導入

Nintendo Co., Ltd.

任天堂 (日本) は、どのような個性を持つ社員であっても、すべての社員一人ひとりが生き生きと気持ちよく働ける職場環境をつくりたいと考えています。この考え方に基づき、2021年3月に「パートナーシップ制度」を導入しました。この制度は、婚姻関係に相当する同性パートナーがいる社員について、社内制度において婚姻と等しく扱うものです。同時に、事実婚関係にある異性カップルについても、社内制度において、法律上の婚姻と同等に扱うようにしました。また、任天堂 (日本) では以前から社員向けの行動規範において「人種、民族、国籍、思想、宗教、信条、出身、社会的身分、社会的地位、職業、性別、年齢、障害の有無、性的指向、性自認等による差別や差別につながる言動をしません」と定め、あらゆる

差別を禁止していますが、今回のパートナーシップ制度導入を機に社内でのハラスメントに関する規程を改訂し、性的指向・性自認に関する差別的な発言や、いわゆる「アウトティング」※行為を明確に禁止しました。そして、パートナーシップ制度の導入を多様な性のあり方について再認識するきっかけとするため、社内ウェブサイトにも社長メッセージを掲載し、「悪意のない言動であっても当事者に大きな精神的苦痛を与える可能性がある」ことについて改めて注意喚起し、気持ちよく働ける職場環境づくりへの理解と協力を社長から社員に呼びかけました。今後も、社内制度の整備や研修の実施などを通じて、さまざまな個性を持つ社員一人ひとりが最大限に能力を発揮できる環境づくりを続けていきます。

※ アウトティング

他人の性的指向や性自認を本人の断りなく第三者に公表すること。

米国任天堂 (アメリカ)

多様性、公平性、インクルージョンに関する研修を実施

Nintendo of America

米国任天堂は社員に対して、新型コロナウイルス感染症の流行中も、オンラインでさまざまな研修機会を提供してきました。たとえば、社員が自由に見られるオンライン研修プラットフォームを用意し、社員向けのビデオ講義を多数提供しました。ビデオ講義の講師は、ソフトウェア、クリエイティブ、ビジネスなど、さまざまな分野の専門家が務めています。また、多様性、公平性、インクルージョンに関する情報発信も継続的に行っています。例えば、「日常における偏見を捨てる」というオンライン講義を通じて、アンコンシャス・バイアス (無意識の偏見) とは何か、また日々の生活においてどのようにそれに気づき、対処すればよいかについて、社員が学べるようサポートしています。

2020年には多くの特別フォーラムを開催し、参加者は個人的なことから仕事に関わることまで、それぞれの体験を語り合いました。参加した社員はたくさんの意見や会話に触れ、さまざまな経験についての理解や認識を深めることができました。さらに、人種差別やその他の差別をなくすために、どのように具体的な行動を起こせばよいのかを、より深く理解するための研修も開催しました。この研修には数百人の米国任天堂社員が参加し、各人が毎日最低1つの差別をなくすためのアクションをとることを注力しました。

米国任天堂 (アメリカ)

Employee Resource Groupsによる多様性のための取り組み

Nintendo of America

米国任天堂では、社員同士の相互理解を促進し、社員のモチベーションを高めるための取り組みとして、共通の特徴や経験、趣味を持った社員が任意に集まってEmployee Resource Groups (ERG) と呼ばれるグループをつくり、活動しています。さまざまなグループが、多様性、公平性、インクルージョンを推進する取り組みを支援しています。ERGの一つであるBlack at Nintendo Dialogue (B@ND) という黒人を支援するためのグループは、社会貢献活動や社員エンゲージメント、採用活動などにおけるインクルージョンを促進するために活動しています。たとえば、米国任天堂やその社員が黒人コミュニティに積極的に貢献するためのさまざまなボランティアの機会を調査・創出したり、多様性、公平性、インクルージョンに関連する出来事や話題について自由に議論できるさまざまな場を設けたりしています。また、多様な人材採用を支援するため、B@NDは全米黒人MBA協会 (NBMBAA) のイベントや、多様な人々が開発したゲームを紹介するイベントGame Developers of Color Conferenceに参加しています。別のグループであるNintendo Women and Alliesは、役職に就いている女性社員によるプレゼンテーションや、リーダーシップを身に付けるための部署横断のコミュニケーション、プレゼンテーションスキルの養成、ネットワークづくりなど、女性のキャリア開発を推進するための力添えとなるさまざまな機会を提供し、女性社員を支援しています。2020年1月には、よりよいコミュニケーションの仕方を学ぶためのイベント「Cultivating Communication Excellence」を開催しました。

※ Girls Make Games

ゲーム業界で働くことに関心のある女の子を支援することを目的に2014年に発足した組織。サマーキャンプやワークショップ、ゲーム制作セッションなどを実施している。



このイベントではボディランゲージを使ったコミュニケーションや、より自信を持って快適に働くために、自分自身についてポジティブに話す方法を扱いました。2020年には新型コロナウイルス感染症の流行とそれに伴う在宅勤務を受けて、Nintendo Women and Alliesはリーダーシップから働き方、さらには孤立への対処に至るまで、幅広いトピックにオンラインで触れる機会を提供するよう努めました。ほかにも、「変化の時にける成功を定義する」というテーマでのパネルディスカッションや、Girls Make Games*のためのイベントなど、さまざまなオンラインイベントを開催しました。イベントでは、8歳から14歳の女の子たちと米国任天堂社員が、どうやって自分自身の強みを見いだすかについて話し合いの場を持ちました。

環境に関する取り組み



社会からの期待に応え、次世代によりよい環境を残していくために、オフィスにおける環境配慮はもちろん、設計から販売後の修理・サポート、リサイクル対応に至るまで、

製品に関するさまざまな側面において、環境負荷低減に取り組んでいます。

設計

調達
生産

輸送
販売

修理
サポート

リサイクル



設計

Nintendo Switchでは、発売後も本体システムの省エネルギー化を進めており、2019年にバッテリー持続時間が長くなった現行モデルの販売を開始しました。その後に発売したNintendo Switch Liteにも、Nintendo Switchの現行モデルと同様の本体システム省エネルギー化の仕組みを採用しています。また、不要な資源を使わないよう努めており、資源の節約やリサイクル性への配慮のために、以下のような取り組みを行っています。

- 製品設計において複合素材[※]の使用を削減
- 部材の分解性を向上
- 分解後のリサイクルを容易にするため材料表示を徹底
- 省資源に貢献する素材の使用拡大
- 廃棄時の環境負荷低減を考慮

※ 複合素材
「紙+アルミ」「紙+プラスチック」など異なる素材を一体化した素材で、一般的にリサイクルが難しいとされている。

バッテリー持続時間

Nintendo Switch従来モデル
約2.5-6.5時間

Nintendo Switch現行モデル
約4.5-9.0時間

Nintendo Switch Lite
約3.0-7.0時間

※ 遊ぶソフトによって、持続時間が変わります。
※ 目安の時間です。使用状況によって、短くなる場合があります。

輸送・販売

欧州任天堂では、モーダルシフトを推進するなど、製品輸送時におけるCO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいます。具体的には、港から倉庫までのコンテナ輸送に、環境負荷が小さいとされる鉄道を利用しています。欧州任天堂の倉庫から流通への輸送においては、常にトラックを満載

にして、輸送の回数をできる限り低減することを目指しています。こうした輸送効率化のために、ITシステムを活用して、流通パートナーの希望納期を考慮したうえでできる限り多くの注文を1つの出荷に統合しています。

修理・サポート

任天堂（日本）では、商品の修理やパーツ販売などのお問い合わせ窓口として「任天堂サービスセンター」を設置しています。そのほか、ゲーム機を良好な状態に保ちながら長くお使いいただくための参考情報として、Nintendo Switchの修理内容から、故障につながりやすい事例を集めたページ「こんなときに故障するかも……」[※]

（日本語）をサポートサイトに掲載しています。地球環境保全の観点からも、商品に愛着を持って長く使っていただくことが重要だと考えており、できる限りの修理を行う体制を各国・地域で整えています。また、サポートサイトの充実を図り、お客様に対する積極的な情報発信に努めています。

※ こんなときに故障するかも……

URL: <https://www.nintendo.co.jp/support/switch/notice/index.html>

リサイクル

米国任天堂では、アメリカとカナダでお客様を対象に、任天堂商品にとどまらず、あらゆるビデオゲーム製品を対象とするリサイクルプログラム「テイクバックプログラム」を実施しています。このプログラムのもと、米国任天堂は、リサイクル対象品の送料を負担するとともに、R2[※]認定のリサイクルのために、ビデオゲーム商品を米国任天堂に

送る方法についての説明を提供しています。また、リクエストに応じて、米国任天堂がお客様に包装材料（リサイクル可能なもの）を提供することもあります。資源が正しくかつ安全に取り扱われるように、米国任天堂が提携するリサイクル業者には、必ずR2認定を取得していただくよう、契約で定めています。

※ R2

Responsible Recycling（責任あるリサイクル）。南北アメリカ全体に普及している電子リサイクルの規格。正式名称はResponsible Recycling（“R2”）Practices for Use in Accredited Certification Programs for Electronics Recyclers。